



～生浜の知らせ～

平成30年4月9日

特別号「特集 入学式」

千葉市立生浜中学校



平成三十年度入学式

新入生誓いの言葉

新入生代表　米原　澄嶺

やわらかな春風にさそわれて、校庭の新芽が少しずつふくらみ始めた今日、四月六日、私たち百九十八名はこの伝統ある生浜中学校の生徒として入学できることをうれしく思いました。

新しい制服を着て、新しい教室で中学生としての生活を始めようとしている私たちは期待と不安でいっぱいです。

中学生になると学習することがたくさんあると聞いています。授業がどんどん進んでいくてしまうのではないかと思うと、とても不安です。家で予習や復習をしながら勉強にも一生懸命取り組みます。

体育祭では友だちと協力することが大切だと聞いています。全員で力を合わせて走ることや先輩達と一緒に競技することなども楽しみです。

また、部活動も楽しみにしていることの一つです。部活動では毎日、練習していく中で自分の目標や夢が見つけられると思うとわくわくします。先輩

方にアドバイスをいただきながら一生懸命努力していきたいと思います。また、たくさんの友だちとふれあう中で、思いやりの心を持ち、より一層仲間を大切にしてきずなを深めていきます。

中学校生活は今日からスタートしたばかりです。わからないことが多く、不安な面もたくさんありますが、小学校で学んできたことをいかし、友だちと協力しながら、くいのない楽しい中学校生活を送るようにしていきたいと思います。そして何事も最後まであきらめず、それぞれの目標に向かって前進していくことを決意し、誓いの言葉とさせていただきます。

歓迎の言葉

在校生代表　杉田　彩香

春の暖かな日差しと共に新たな出会いの季節がやって参りました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは皆さんの入学をとても楽しみにしていました。



体育館に入場したときにわくわくする気持ちや不安な気持ち、皆さんそれぞれ違う気持ちを抱いてきたと思います。でもきっとすぐに新しい友だちができ、中学校生活に慣れ、毎日が楽しく感じられるようになるでしょう。その中でわからないことがあれば遠慮なく私たちに聞いてください。

中学校では小学校とは違うことがいくつかあります。例えば中学校では小学校とは違い教科毎に先生が変わります。そのため、いろいろな先生と関わ

ることができます。教科も増え、専門的な勉強も増えていきます。そしてより高度な知識を身につけることができます。

また、皆さんがあなたが一番楽しみにしているのは部活動ではないでしょうか。部活動では新たな仲間と出会うことができ、個人の目標やチームの目標に向かって心身共に鍛え上げることを通じて、達成感や充実感を経験することができます。また、練習試合や大会、コンクールを通して、他の学校の生徒とも交流することができ、人間関係や考え方を広げることができます。

生浜中学校では学校行事にとても力を入れています。そのひとつが紅白対抗の体育祭です。毎年白熱したバトルが繰り広げられます。

また、秋にはクラス対抗の合唱コンクールがあります。クラス全員が一丸となり、ひとつの歌を一生懸命歌うことで大きな達成感が得られます。

その他にも2年生では自然教室、3年生では修学旅行があり、友だちと過ごす時間がいつもより長くなることで、友だちの新しい一面を発見することができます。皆さんの力でこのようないろいろな行事をより楽しいものにしていきましょう。

最後に、中学校3年間は心も体も成長するときです。だからこそ、初めてのことにも思いっきり挑戦してほしいと思います。



皆さんの中学校生活が充実した素晴らしいものになることを願っています。

桜 入学式 式辞

校長 石田 邦治

やわらかな陽射しに校庭の花々は鮮やかに咲き誇り、南からの風が心地よく校舎を吹き抜けるさわやかな季節を迎えるました。この佳き日に学区小学校の校長先生をはじめ、地域から本校を支え、見守ってくださっている来賓の皆様方のご臨席を賜り、平成三十年度入学式が挙行できますことに、深く感謝申し上げます。



ただ今、一人ひとりが呼名され、はれて生浜中学校の生徒となった、百九十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員、在校生一同、心から歓迎いたします。そして皆さんのが安心して充実した中学校生活を送れるよう全力で支援していきますので、一緒に頑張っていきましょう。さて、皆さんのがこれから過ごす中学校生活の3年間は、大人として社会に出るための基礎を様々な学習や経験を通して身につけていく、とても大切な期間になります。その心構えとして、ぜひ胸に留めておいてほしい二つのことを話します。

一つ目は、いろいろなことに興味を持ってチャレンジし、自分の好きなことを見つけてほしいということです。中学校では、小学校よりも多くの教科を幅広く勉強します。また、放課



後には部活動があり、そして様々な体験学習もあります。このことは苦手とか、自分に向いてないと決めつけずに、興味を持って頑張ってみることで、新たな発見があることも珍しくありません。ぜひいろいろなことにチャレンジして自分の可能性を広げ、本当に自分の好きなこと、やりたいことを見てください。

二つ目はお互いを認め合い、そして高め合えるような友達関係を作ってほしいということです。人はそれぞれ長所もあれば欠点もあり、その人だけの個性を持っています。それをお互いがわかり合い、認め合おうとすることで、そこに信頼、絆が生まれます。辛い時にそばにいて話を聞いてくれる友達、同じ目標に向かって励まし合い、一緒に喜び、一緒に泣ける友達がいてくれること。それは中学校生活で何よりも大切な、かけがえのない喜びだと私は思います。

今年の二月に韓国のピョンチャンで開催された冬季オリンピック・パラリンピックでは、それぞれの国の期待を背負った選手たちが、私たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。

特に私が心に残ったのは、スピードスケート女子500mの小平奈緒選手の行動でした。日本の期待を一身に集めた小平選手がオリンピック新記録でゴールしたあと、歓喜に湧き返る日本の応援席へ向かって人差し指を唇に当て、「静かにしてください」という仕草をしました。これはまもなくスタートする次の組の選手が集中できるようにと配慮したことでした。

そして次の組で滑った韓国のイ・サンファ選手は、小平選手の記録に及ばず、小平選手の金メダ

ルが確定しました。その時、小平選手はすぐにイ・サンファ選手のもとに行き、肩を抱きながら何か声をかけました。その後、二人の抱き合いながら涙する映像が流れました。後の報道で、あの時小平選手は韓国語で「あなたがいてくれたからこそ、私はここまでやってこられた。」と、イ・サンファ選手に言つたということを知りました。



お互いの国を代表するトップ選手として、同じプレッシャーと戦い、一方がスランプになったときはアドバイスし合いながら、共に頑張ってきたということでした。まさに、お互いを認め合い、高め合っている二人の素晴らしいアスリートの姿に胸が熱くなりました。

皆さんのこれからの中学校生活は「チャレンジする心」と「お互いを認め合う心」、この二つを忘れずに、胸を張ってスタートを切ってください。先生方や先輩方は、皆さんのが困ったとき、迷ったときにはいつも手を差し伸べ進むべき道を示してくれます。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の3年間は、心も体も大きく成長する時期であるが故に、悩みも多い時です。社会に出るための第一歩として、善悪の判断、自分の負うべき責任等については、私たち職員と手を携えて支援にあたり、お子様の自立を共通の願いとしてご協力くださいますようお願ひいたします。

結びに、ご来賓の皆様にはご多用の中、ご臨席を賜り誠にありがとうございました。今後も本校生徒の健やか



な成長を見守りていただくとともに、これまで同様、本校の教育活動にご支援いただきますようお願い申し上げ式辞といたします。

祝辞

PTA会長 三谷 真

新入生の皆さん、生浜中学校へのご入学おめでとうございます。

ならびに保護者のみなさま、本日は誠におめでとうございます。PTA会長の三谷と申します。代表をしてご挨拶をさせて頂きます。

これから始まる中学校生活三年間の中で、先生方や友達との出会い、勉強や部活動などで経験すること、体験することは皆さんの人生において素晴らしい財産となっていきます。これから築いていく人間関係は、高校・大学・社会人になっても続いているものですし、何でも相談できる友人となると確信しています。この人間関係がきっと皆さんの将来を豊かにしてくれるはずです。その中で保護者の一人として皆さんに頑張ってほしいという想いからひとつお話をさせて頂きたいと思います。

皆さんは何かを行動するとき、どうしていますか？
とりあえず動いてみますか？色々調べてから動きますか？どうせダメに決まっている。と諦めいませんか？

僕は、まず動いてみます。当たって碎けろという慣用句がありますが、意味は、「成功するしないに関わらず、進んで決行すべきであるということ。実行しなければ何事も成就しないということ。」です。どうせ碎けるなら、挑戦してから碎けろという事ですね。分かり易く言えば、「駄目もとでやってみろ」という事です。

僕は恥をかいてもいいから、まずはやってみよう。と思い、物事を行動しています。なぜその様にするのでしょうか？普通、人は恥をかきたくありません。恥をかきたくないから考え、計画し、努力するんです。行動する時はやる！と決めてから準備を始めます。それは何事も初めての事にはチャレンジしてからでないと評価が出せないからです。結果、やはりダメだったかもしれません。ですが無駄な経験にはならないのです。必ず次に繋がります。成功も経験。失敗も経験です。ですが、どちらも積み重ねることにより次に繋がる強い力となります。これから皆さんは勉強や部活動を通して、友人を作り仲間と色々な経験をしていきます。やらずに時をただ過ごすより、色々な経験をし、日々を充実して過ごせるよう何事にも一生懸命取り組んでみて下さい。

保護者の皆様におかれましては、小学校の6年間とはまた違った感慨に胸を熱くされていらっしゃるのではないかでしょうか。PTAでは大切なお子様の成長とよりよい学校生活を送ってもらえるよう日々活動をいたしております。お忙しいかと思いますが、PTA活動へのご協力とご理解をよろしくお願い致します。

結びにあたり、新入生の皆さん、保護者の皆様には重ねてお祝いを申し上げるとともに、校長先生はじめ諸先生方ならびに、ご来賓の皆様には、末永いお力添えとご指導をお願い致しまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

